

授業 科目名	【G】	歴史学概論	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2	
	【H】	歴史学概論			【H】1		【H】2	
	【I】	歴史学概論	その他参照		【I】1		【I】2	
科目区分	基本科目:【G・H・I】教科及び教科の指導法に関する科目(中社・地歴・---)							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独	【G】	教員の免許状取得のための(中社選択・地歴選択・---)科目					
		【H】	教員の免許状取得のための(中社選択・地歴選択・---)科目					
		【I】	教員の免許状取得のための(中社選択・地歴選択・---)科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等		教科に関する専門的事項:「日本史・外国史」(中一種免社会) 「日本史」(高一種免地歴)						
サブ タイトル	歴史学はどのように研究するものなのか				担当者	酒匂 由紀子		
授業概要	【概要】	<p>本講義では、歴史学の研究はどのように行っているのかということについて、史料の扱い方・歴史研究の方法・史学史(歴史学の歩み)・歴史叙述の変遷を学ぶ。</p> <p>高校までの歴史教科は、年代と出来事を暗記する教科だったと思われる。しかし、歴史学研究においては、必ずしも答えが1つとは限らない。例えば、近年の日本史の教科書において、鎌倉幕府が開かれたのが1192年のほか、1185年でも正解だと解説されているのは、まさに日本史の研究成果の影響である。</p> <p>本講義は、上記のように歴史研究は正解が1つのみの暗記モノだというイメージを捨て去ってもらうことを目的とする。</p> <p>さらに、歴史学研究の方法にも歴史があること、他方で歴史史資料にも嘘があることも解説していく。</p>						
	【到達目標】	<p>学生が以下を理解し、説明できるようになることを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歴史学の方法 2. 史料とは何か 3. 日本および世界における歴史学の発展の概要(史学史) 4. 通説はどのように作られてきたか 5. 歴史学と法学・現代社会との関連 						
履修条件	特になし							
アクティブ ラーニングの 方法	【-】	事前学習型	【-】	反転授業	【-】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【○】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【-】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	◎ (よく当てはまる)						
他科目との 関連性	この授業は、日本法制史 I や日本史概論の理解を深めるのに役立つ							
教科書	資料を適宜配布する							
参考書	土肥恒之『日本の西洋史学-先駆者たちの肖像-』(講談社学術文庫2761、2023年) 関幸彦『幕府の発見』(講談社選書メチエ831、2025年)							
評価方法	毎回の授業内での小レポート等【20%】・期末レポート【80%】で評価する。							
フィードバック 方法	提出された小レポート等に対してコメントする アプリを用いた授業中の質問に回答する							
評価基準	本授業の到達目標の到達度に応じて「S」または「A」評価とする。理解や表現に不適切な点のある者にはその程度に応じて「B」または「C」とし、理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。レポート未提出など、評価不能の場合は「F」とする。							

授業 科目名	【G】	歴史学概論	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
	【H】	歴史学概論	その他参照		【H】1		【H】2
	【I】	歴史学概論			【I】1		【I】2
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス、歴史とは何か—高校までの暗記した「歴史」と、大学での考える「歴史学」						
	予習: シラバスを確認する。(2時間)			復習: 歴史学の方法についてまとめる(2時間)			
2	史料とは何か— 一次史料と二次史料						
	予習: 「歴史」のイメージをまとめる(2時間)			復習: 史料の性質についてまとめる(2時間)			
3	日本の歴史学の歴史① —近世の歴史叙述—						
	予習: 高校の教科書などで近世を通覧する(2時間)			復習: 近世の学問(歴史)についてまとめる(2時間)			
4	日本の歴史学の歴史② —近代「歴史学」の成立—						
	予習: 高校の教科書などで近代を通覧する(2時間)			復習: 近代の歴史研究についてまとめる(2時間)			
5	世界の歴史学の歴史① —ヨーロッパの「歴史学」—						
	予習: 配布する予習プリントを通覧する(2時間)			復習: ヨーロッパの歴史学の方法をまとめる(2時間)			
6	日本の歴史学の歴史③ —大正～昭和—						
	予習: 高校の日本史の教科書などで大正期～終戦までを通覧する(2時間)			復習: 大正～昭和期の歴史学の方法についてまとめる(2時間)			
7	世界の歴史学の歴史② —20世紀の歴史学—						
	予習: 配布する予習プリントを通覧する(2時間)			復習: アナール学派の特徴をまとめる(2時間)			
8	日本の歴史学の歴史④ —戦後歴史学の発展—						
	予習: 高校の日本史の教科書などで戦後を通覧する(2時間)			復習: 戦後～昭和終盤までの歴史学の方法についてまとめる(2時間)			
9	日本の歴史学の歴史⑤ —実証史学による見直しと検討対象の拡大—						
	予習: 高校の日本史の教科書などで平成以降を通覧する(2時間)			復習: 平成以降の歴史学の方法についてまとめる(2時間)			
10	通説の形成過程 —これまでの授業の応用—						
	予習: これまでの授業レジュメの見直し(2時間)			復習: 通説の形成過程について自らの考察を文章化する(2時間)			
11	歴史学と隣接分野						
	予習: 歴史学の隣接分野にはどのようなものがあるか考える(2時間)			復習: 歴史学と隣接分野の相互影響を考える(2時間)			
12	歴史学と現代社会① —史料の公共性—						
	予習: 「アーカイブズ」「公文書館」について調べる(2時間)			復習: 「アーカイブズ」のメリット、デメリットを考える(2時間)			
13	歴史学と現代社会② —観光と歴史学(その1)—						
	予習: 日本で世界遺産に登録されているものを調べる(2時間)			復習: 世界遺産選定のメリット、デメリットを考える(2時間)			
14	歴史学と現代社会③ —観光と歴史学(その2)日本における諸問題—						
	予習: 実家周辺の歴史を調べる(2時間)			復習: 観光素材に歴史を利用する意味について考える(2時間)			
15	歴史学概説まとめ —歴史とは何か—、学習到達度の確認						
	予習: これまでの授業レジュメの見直し(2時間)			復習: 学習到達度の確認を見直す(2時間)			
その他	予習と復習を積極的に取り組めるかが理解のカギになります。 ※G・H・I:【選択必修(ウ)】						